

コウ・シンイ

JPN 202-000 Sakubun III

### 日本と中国のプレゼントの違い

去年の夏休み、私は家族と一緒に京都に旅行しました。日本人の友達によると、京都は漬物がとても有名だそうですから、祇園の近くにある漬物の店に行きました。私はいつも日本の梅干が食べてみたかったから、その店で梅干を買いました。店員は和紙で梅干を包んで、きれいな箱（はこ）に入れました。私は「どうしてそんな安い物もよく包むんですか」と店員に聞きました。実はこの店に来るお客さんはほとんど観光している人だから、お土産に漬物を買う人が多いです。店員は私が買った梅干もお土産だと思ったから、全部きれいに包んでくれました。

中国人もお正月や旅行した時にお世話になった人にプレゼントを贈りますが、日本人の習慣と比べると、面白いことに気がつきました。まず、日本人はプレゼントを選んでいる時、プレゼントの実用性が値段やほかのことより大切だと思います。プレゼントは季節やプレゼントをもらう人の趣味によって違います。例えば、私の友達のお父さんは日本の会社で働いていて、卓球が大好きです。お正月に日本人の同僚に卓球のラケットをもらいました。日本のプレゼントは高くななくてもいいですが、絶対に毎日使えて、特別な物がいいです。中国人はプレゼントの値段が一番大切だと思います。中国人に贈るプレゼントは高くて、普通の人あまり買えない物を選んだほうがいいです。例えば、韓国の人参やアメリカの果物がいいです。

また、日本のプレゼントのパッケージの包み方はプレゼントを贈る人の感謝の気持ちを表すから、プレゼントはとても安くても、きれいに包まなきゃいけません。そして日本でプレゼントをもらった時、気を付けてパッケージを開けて、プレゼントを褒めたほうがいいです。中国のプレゼントは値段によって包んであるから、漬物のような安いプレゼントは包まなくてもいいです。そして、中国では、プレゼントを贈る人の前でパッケージを開けるのはとても無礼です。贈る人

が帰ってから、プレゼントを開けたほうがいいです。

最後に、日本と中国のプレゼントのタブーが文化によってよく違います。例えば、日本で赤い花は火事の意味があるから、新しい店が開店する時、赤い花を贈ってはいけません。でも中国では赤い花は吉祥の意味しかないから、中国人はよく赤い花を贈ります。そして、中国では時計を贈るのは死んでいる人を葬るという意味があるから、絶対に時計を贈ってはいけません。日本人は時計はいつも頑張っている人みたいだと思うから、よくまじめな人に高い時計を贈ります。

日本と中国のプレゼントを贈る習慣には違いがたくさんありますが、中国人も日本人もプレゼントで自分の感謝の気持ちを表します。文化が違いますが、この感情はいつも同じだと思います。私も今度自分の感謝の気持ちを表したい時は京都の梅干のような珍しいプレゼントを買って、自分で包んで、贈るのもいいなと思いました。